

りんご黒星病防除の重要ポイント

(被害葉・被害果は、見つけ次第、摘み取りましょう!)

津軽地域の一部園地でりんご黒星病の発生が確認されています。

感染拡大を防ぐため、自園地の葉や果実、果柄等の状況を随時点検し、発生が見られたら、速やかに摘み取り処分を行いましょう!!

りんご黒星病の症状

果そう葉／新梢基部葉



果柄



新梢



新梢葉



重要!

被害葉・被害果の摘み取り

- 今後、降雨があると、被害葉・被害果の病斑から孢子（分生子）が飛散し、葉や果実に新たな病斑を形成するため、**被害葉・被害果の病斑が多い場合、生じる被害もより激しくなります。**
- 病斑を早期発見し、摘み取り処分をすることにより、その後のまん延を防止することができるので、個人はもとより、共防単位でも随時点検を行いましょう。**



葉の病斑（葉裏）



果実の病斑



摘み取った実を集める



土中に埋める

- ・作業の際にシートを敷いて集めたり、樹毎に小さな穴を掘って埋めるなど工夫している事例もあります。
- ・薬剤散布に当たっては、生産情報等に注意し、**適期に基準量を丁寧に散布**しましょう。
- ・散布予定日に降雨が予想される場合は、**降雨前に散布**しましょう。

＜りんご黒星病対策の問い合わせ先＞

- ・ 県りんご果樹課 017-734-9492
- ・ （地独）青森県産業技術センターりんご研究所 0172-53-6132
- ・ （公財）青森県りんご協会 0172-27-6006
- ・ 最寄りの地域県民局農業普及振興室や農業協同組合